

# 令和3年度 第5回 技術研究会



## 「都市再開発事業等とエリアリノベーション」

都市再開発事業は、従来、地域のまちづくりの核となり、周辺市街地も含めた活性化の起爆剤となることが期待され、数多くの事例でそうした機能を果たしてきました。しかし、現在の人口減少下のまちづくりにおいては、拠点的な再開発事業だけがうまくいっても、周囲の街が寂れてしまっただけでは成功とは言えません。拠点の取組みと合わせてエリア全体の価値向上が発揮されるよう、より俯瞰的な姿勢や取組みが必要となってきました。

一方、近年では、特に商業的に疲弊した中心市街地等において、老朽建物等のリノベーションを起点に街の活性化に取り組む動きも盛んになり、特定のエリアで地元等のやる気のある方たちを集めて、集中的にリノベーション事業に取り組みながら地域の価値向上を目指す「エリアリノベーション」という考え方が世の中に広がってきています。ところが、これまでは、なかなか再開発事業とリノベーション事業の枠を外しての議論がなされず、自治体においても縦割りの状況になっていることから、同じまちづくりを行う立場でも、ちぐはぐな施策展開や事業展開とならざるを得ないことが散見され、課題となっています。

本研究会では、今回、エリアリノベーションにおける第一人者である清水義次氏をお招きし、エリアリノベーション事業で行われている理念や方法論、事例等をご紹介いただきつつ、エリア全体の価値向上のための再開発事業とリノベーション事業の連携を図る仕組みや事例等を概括した上で、今後のまちづくりにおける公共投資や民間投資のあり方、街全体を俯瞰しうる再開発コーディネーターの新たな役割について議論することで、参加者の皆さんのまちづくりへの関与の幅を広げる一助となることを期待します。

### ◇ 内 容

1. 再開発事業とリノベーション事業の連携の必要性、事例からみた分析、課題と展望
  - ①都市機能の適切な分担、両手法の事業規模や時間軸の違いを埋める等、連携の意義やメリット
  - ②再開発事業とリノベーション事業の連携を後押しする仕組みと今後の課題
2. エリアリノベーションの第一人者から見た、両事業の連携について
  - ①「敷地に価値なし、エリアに価値あり」とは
  - ②暫定利用、恒久利用とその間の利用形態について
3. 再開発事業等とエリアリノベーションの課題と今後の展開について（パネルディスカッション）

### ◇ 講 師

株式会社アフタヌーンソサエティ 代表取締役 清水 義次氏  
森ビル都市企画株式会社 事業企画部 部長補佐 三輪 恭之氏

(一社)再開発コーディネーター協会 事業企画委員会 委員

### ◇ コーディネーター

株式会社アール・アイ・エー 東京本社 開発企画本部 本部長 中尾 俊幸氏

(一社)再開発コーディネーター協会 事業企画委員会 委員

日 時 : 令和3年11月24日(水) 14:00~17:00  
場 所 : ビジョンセンター浜松町(住所:港区浜松町2-8-14 浜松町TSビル)  
※会場が外部会場ですので、ご注意願います。(https://www.visioncenter.jp/hamamatsucho/access/)  
定 員 : 約40名(申込締切日:11/2(火)迄。但し、定員になり次第、締切と致します。)  
参 加 費 : 15,000円(会員は13,000円)(税込)  
※事前振込とし、当日参加費の現金取扱いは致しません。

申込方法 : 下記①、または②の方法にてお申込み下さい。

①右記申込みフォームよりお申込み下さい。【<http://urca.or.jp/mailform/gijyutu06/gijyutu06entry.html>】

②下記申込欄にご記入のうえ、FAXまたはメールにてお申込み下さい。

FAX 03-3454-3015 メール: [jigyuu@urca.or.jp](mailto:jigyuu@urca.or.jp)

※ 参加される方は、各自マスクをご用意頂き、必ず着用いただきますよう、お願い致します。

※ 受講当日は、受講票(後日送付)を忘れずにお持ちいただきますよう、お願い致します。

なお、開催2日前までに参加費の入金確認が取れない場合、受講票は無効となります。

会社名: \_\_\_\_\_ 電話: \_\_\_\_\_

請求書送付先:(〒 \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

請求書宛名: \_\_\_\_\_

会員種別 ( 1.個人会員(正・賛助) 2.法人会員(正・賛助) 3.一般)

所 属・役 職 名	氏 名	連絡先メールアドレス